1. 授業時数特例校制度導入の考え

(1) 実施の目的

- ①算数科における基礎学力の充実
- ②包括的生徒指導（MLA）を取り入れた、支持的・親和的な学校・学級風土の醸成

(2) 解決を図る学校課題

①算数科における基礎学力の充実

NRT 標準学力検査において、5段階評定で1または2の児童の割合が高く、基礎学力の底上げが急務。通常の授業に加え、ルーブリックを用いた習熟度別少人数指導を行い、学年の指導内容にとらわれない、個に応じた基礎学力の向上を図る。

②MLAを取り入れた、支持的・親和的な学校・学級風土の醸成

ピア・サポートの取組を全校で行い、「ともに聴き合い、支え合い、学び合う学校」づくりを目指してきた。年2回の児童アンケート「友だちの良いところに気づき、認め合うことができた」の項目において、「あてはまる」「ややあてはまる」と肯定的回答をした児童は96%あった。

しかし、10月実施のいじめアンケートにおいて、56件のいじめ報告がされるとともに、11月実施の保護者アンケートでは「ピア・サポート的活動を行うことで、互いを認め合い、支え合う気持ちが高まっていると感じますか」の問いに「あてはまらない」「ややあてはまらない」「わからない」との回答が、27%あった。

それらを踏まえ、令和7年度の目指す学校像「だれもが行きたくなる学校」実現のため、MLAを取り入れた学校づくりを推進する。

(3) 保護者・地域住民への周知

①令和6年度の取組

12月発行の学校便りにおいて「授業時数特例校制度」の導入に関して保護者及び地域住民に周知した。その後、2月実施の懇談会やCS会議で本校が取り組む内容を説明するとともに、2月20日には「親学」として保護者・地域住民に「本校が取り組むピア・サポート」について説明・体験会を実施し、30名を超える参加があった。

②令和7年度の取組

学校便り及びPTA総会で説明し周知する。

年3回の「親学」を実施し、保護者・地域住民への説明を行い理解を深める。

2. 各教科等年間授業時数

上段…学校教育法施行規則に定める標準授業時数 下段…変更後の授業時数（授業時数の増減）

学年		第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
各教科の授業時数	国語	306 290 (-16)	315 299 (-16)	245 230 (-15)	245 230 (-15)	175 161 (-14)	175 161 (-14)
	社会	-	-	70 66 (-4)	90 86 (-4)	100 96 (-4)	105 104 (-1)
	算数	136 154 (+18)	175 193 (+18)				
	理科	-	-	90 85 (-5)	105 100 (-5)	105 101 (-4)	105 100 (-5)
	生活	102 92 (-10)	105 95 (-10)	-	-	-	-
	音楽	68 64 (-4)	70 66 (-4)	60 56 (-4)	60 56 (-4)	50 47 (-3)	50 47 (-3)
	図画工作	68 65 (-3)	70 67 (-3)	60 57 (-3)	60 57 (-3)	50 47 (-3)	50 47 (-3)
	家庭	-	-	-	-	60 57 (-3)	55 51 (-4)
	体育	102 100 (-2)	105 103 (-2)	105 101 (-4)	105 101 (-4)	90 88 (-2)	90 87 (-3)
	外国語	-	-	-	-	70 68 (-2)	70 68 (-2)
	特別な教科である道徳の授業時数	34 34	35 35	35 35	35 35	35 35	35 35
	外国語活動の授業時数	-	-	35 35	35 35	-	-
総合的な学習の時間の授業時数	-	-	70 70	70 70	70 70	70 70	
特別活動の授業時数	34 51 (+17)	35 52 (+17)	35 52 (+17)	35 52 (+17)	35 52 (+17)	35 52 (+17)	
合計	850	910	980	1015	1015	1015	
学校行事	27	25	25	24	34	43	
児童会活動	3	3	4	5	5	5	
クラブ活動				6	6	6	

第1学年の余剰を含めた総授業時数 [9 1 4 時間] 余剰時数 [6 4 時間]
 第2学年の余剰を含めた総授業時数 [9 6 2 時間] 余剰時数 [5 2 時間]
 第3学年の余剰を含めた総授業時数 [1 0 4 5 時間] 余剰時数 [6 5 時間]
 第4学年の余剰を含めた総授業時数 [1 0 7 7 時間] 余剰時数 [6 2 時間]
 第5学年の余剰を含めた総授業時数 [1 0 7 9 時間] 余剰時数 [6 4 時間]
 第6学年の余剰を含めた総授業時数 [1 0 6 2 時間] 余剰時数 [4 7 時間]